

『モンコレD』発売以降の  
モンスター・コレクションTCG 20th 環境レギュレーション概要（試案）

作成：グループSNE

Ver.20190324

本文書は、モンスター・コレクションTCG20周年記念セット（以下、モンコレTCG）の環境において、『モンスター・コレクションDeus（以下、モンコレD）』のカードを混合する方法を示したものです。

「第22回モンスター・コレクションTCG全日本選手権大会（以下、全日本選手権。開催時期未定、現在検討中）」は、本文書に示すレギュレーションを採用して開催される予定です。

本文書で示すレギュレーションは現在検討中の試案であり、モンコレD製品版が発売され、全日本選手権の開催情報が公開されるとともに更新されることがあります。あらかじめご了承ください。

本文書で示すのはレギュレーションの概要であり、より詳細な内容はモンコレD発売後に発表の予定です。

## ■ 1 ■ デック構築ルール

モンコレDのいくつかのカードはモンコレTCGに採用する際に、勢力が同じ召喚術師と紐づけされ、指定された召喚術師と組み合わせなければデッキに採用できません。

また、儀式スペルカードはデッキに1枚しか採用できません。

この項目に示されていないモンコレDのカードは、原則として条件なしでデッキに3枚まで採用できます。ただし後述する「■禁止カード」は、モンコレTCGのデッキに1枚も採用できません。

### ■ 《ドゥーガ》と紐づくカード

次のカードは、召喚術師カードとして《ドゥーガ》を採用している場合にだけ採用可能です。

▽カード No.M20E-013 《大砂蟲》

▽カード No.M20E-049 《ウォークライ》

▽カード No.M20E-072 《メテオ・ストライク》（1枚制限）

#### ■ 《ラブラース》と紐づくカード

次のカードは、召喚術師カードとして《ストレイン》を採用している場合にだけ採用可能です。

▽カード No.M20E-020 《クラークン》

▽カード No.M20E-054 《フォッグ》

▽カード No.M20E-071 《ムーンライト・チャージャー》（1枚制限）

#### ■ 《アラシャ》と紐づくカード

次のカードは、召喚術師カードとして《アラシャ》を採用している場合にだけ採用可能です。

▽カード No.M20E-027 《ベヒモス》

▽カード No.M20E-055 《スリープ》

▽カード No.M20E-067 《アースクエイク》（1枚制限）

#### ■ 《ガゼル》と紐づくカード

次のカードは、召喚術師カードとして《ガゼル》を採用している場合にだけ採用可能です。

▽カード No.M20E-034 《テュポーン》

▽カード No.M20E-058 《サイレンス》

▽カード No.M20E-070 《ファーマシー》（1枚制限）

#### ■ 《ロゼッタ》と紐づくカード

次のカードは、召喚術師カードとして《ロゼッタ》を採用している場合にだけ採用可能です。

▽カード No.M20E-041 《ホーリー・フェニックス》

▽カード No.M20E-061 《サンクチュアリ》

▽カード No.M20E-068 《コロッサス・ブラッド》（1枚制限）

#### ■ 《ストレイン》と紐づくカード

次のカードは、召喚術師カードとして《ストレイン》を採用している場合にだけ採用可能です。

▽カード No.M20E-048 《デスブリンガー》

▽カード No.M20E-065 《ブラックホール》

▽カード No.M20E-069 《デーモン・トレード》（1枚制限）

## ■禁止カード

モンコレTCGにおいては、次のカードの使用を禁止します。

▽カード No.M20E-009 《スパーク・ヘッジホッグ》

## ■《スペクター》への補足

トークンカードの《スペクター》は、《ストレイン》採用時に自動的に2枚採用されます。

そしてトークンカードの《スペクター》は、モンコレDと同様に、山札用の50枚のカード枚数に含まれません。

《スペクター》は同時攻撃タイミングにも、戦場にユニットとして残ります。

トークンカードはゲームが開始した際、「トークンカードゾーン」に置かれます。トークンカードゾーンは、召喚術師カード置き場の近辺（召喚術師カードの下に敷くなど）することを推奨します。

《スペクター》は戦場から取り除かれる効果を適用されると、ユニットからトークンカードに戻り、トークンカードゾーンに置かれます（ゲームから除外される効果を適用された場合にも、除外ゾーンではなくトークンゾーンへ置かれます）。トークンゾーンは公開情報です。

## ■同名のカード

モンコレDと、20周年記念セットに含まれるカードで同名のカードがあった場合、前述の条件を満たした上で、合計3枚までデッキに採用できます。ただし召喚術師カードとトークンカードはこの条件に含まれません。

## ■ 2 ■ カード内容の変更

次のカードについて、モンコレTCGにおいては次のとおり内容を変更いたします。

《ラプラーズ》

[モンコレD]

コスト：▼（パワー1個）

[モンコレTCG]

コスト：▼&捨札1枚除外と、捨札にあるこの効果で選ぶカードと同じ属性のカード1枚を除外

（合計2枚のカードを除外）

《ウォークライ》

《サンクチュアリ》

《ブラックホール》

[モンコレD]

(使用できるエリアの制限ナシ)

[モンコレTCG]

(次の条件を追加)

この戦闘スペルの効果は、敵軍本陣では適用されない。

### ■ 3 ■ ルールへの変更と処理の概要

モンコレDのカードをモンコレTCGと混合する際、モンコレTCGのルールに変更やいくつかの処理が追加されます。ここではその概要を示します。

#### ■ パワーチャージ=召喚術師能力

モンコレDにおけるパワーの処理については、モンコレDの6種の召喚術師《ドゥーガ》《ラプラーズ》《アラシャ》《ガゼル》《ロゼッタ》《ストレイン》が、次の特殊能力を持つこととして扱います。

=====

**[条件 (強制)] パワーチャージ/Field**

〈発揮：自軍の第1調整フェイズ開始時／対象：自軍プレイヤー〉

対象は▼ (パワー1つ) を得る。

=====

この特殊能力は第1調整フェイズの開始時に発揮されるため、ゲームが始まって最初のターン (先手プレイヤーの最初のターン) には、召喚術師能力でパワーを獲得できません。

#### ■ 儀式スペルの敵軍本陣不可侵

モンコレDの儀式スペルは、モンコレTCGにおいて「敵軍本陣」「敵軍本陣に存在するユニット」を対象にできません。

#### ■ [速攻] 速攻タイミング＝イニシアチブ決定タイミング開始時

モンコレDにおける [速攻] のタイミング表記と"速攻タイミング"という表現は、モンコレTCGにおける〈発揮：イニシアチブ決定タイミング開始時〉とまったく同じものであることとして扱います。

つまり [速攻] に対して [対抗] できません。

### ■ 4 ■ カードの読み替え概要

モンコレDのカードを、モンコレTCGに当てはめた場合の具体的なカードの読み替えは、モンコレDの商品発売から2週間以内に公開予定です。

原則としてモンコレDにおけるカードテキスト処理を、そのままモンコレTCGへ移行します。

#### ■モンコレD召喚術師の特殊能力＝◎（宣言型）特殊能力

モンコレDの召喚術師が持つ、タイミング表記が [儀式] で、効果テキスト冒頭に"メインフェイズに使用可能"と示された特殊能力は、モンコレTCGでは「◎（宣言型）特殊能力」として扱います。

#### ■ユニットが持つ [普通] [対抗] の特殊能力

モンコレDにおいて、《バジリスク》《クリスタル・ゴーレム》《クラーケン》《ベヒモス》が持つタイミング表記が [普通] または [対抗] の特殊能力は、モンコレTCGでは「◎（宣言型）特殊能力」として扱います。

モンコレDにおいて、ユニットを行動完了にすることをコストにする《ポイズン・ジャイアント》が持つタイミング表記が [普通] の特殊能力は、モンコレTCGでは「◇（完了型）特殊能力」として扱います。

いずれもモンコレDのテキストどおり、「自軍の攻撃前に1度」または「敵軍が攻撃中」にしか使用できません。

#### ■ [条件] 自動発揮＝ [条件（強制）]

モンコレDにおいて、タイミング表記が [条件] で、効果テキスト冒頭の一文末尾に"自動発揮"と示された特殊能力は、モンコレTCGではタイミング表記が [条件（強制）]として扱います。